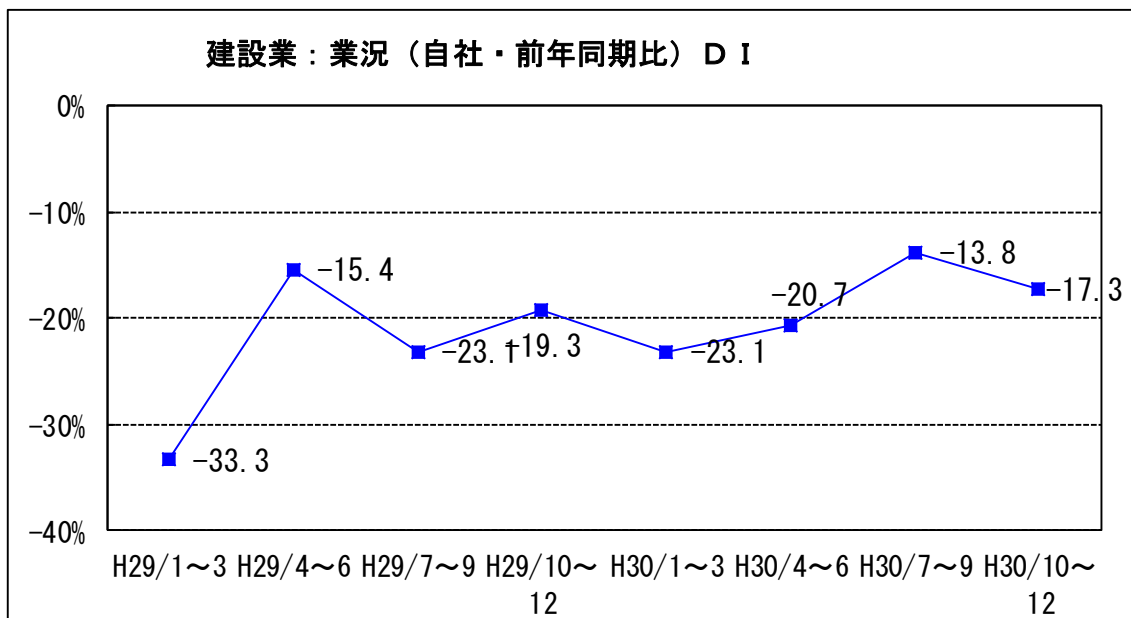


3. 建設業の動向

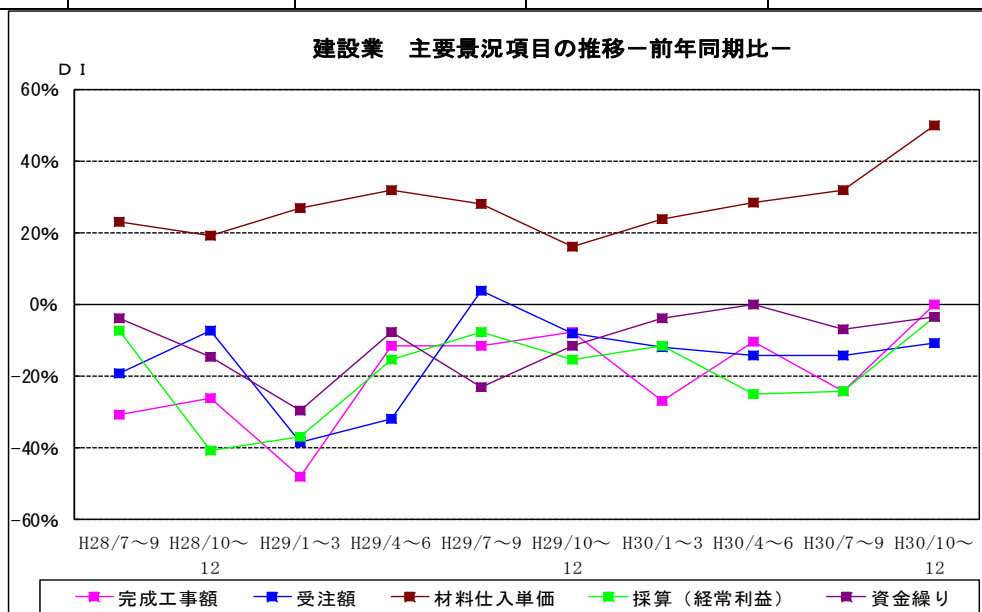
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は▲17.3。前期の▲13.8からやや下降となった。
来期見通しは、▲10.7と改善が見込まれる。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

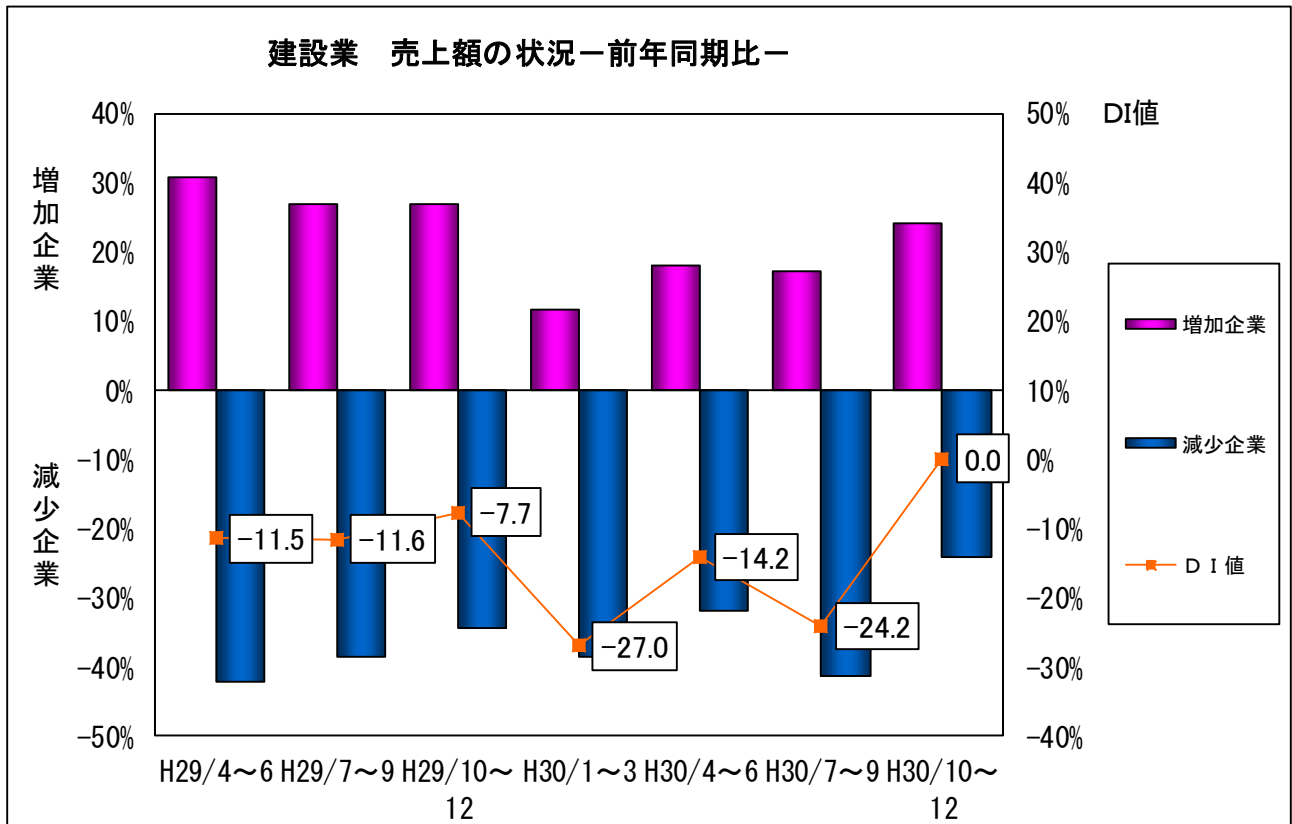
	前々期 (30年4月~6月)	前期(A) (30年7月~9月)	今期(B) (30年10月~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期見通し
完成工事額	▲10.4	▲24.2	0.0	▲24.2	▲6.9
受注額	▲14.2	▲14.2	▲10.7	3.5	▲14.3
材料仕入単価	28.6	32.1	50	17.9	39.3
採算（経常利益）	▲25.0	▲24.2	▲3.5	20.7	▲11.1
資金繰り	0.0	▲6.9	▲3.5	3.4	▲3.4



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

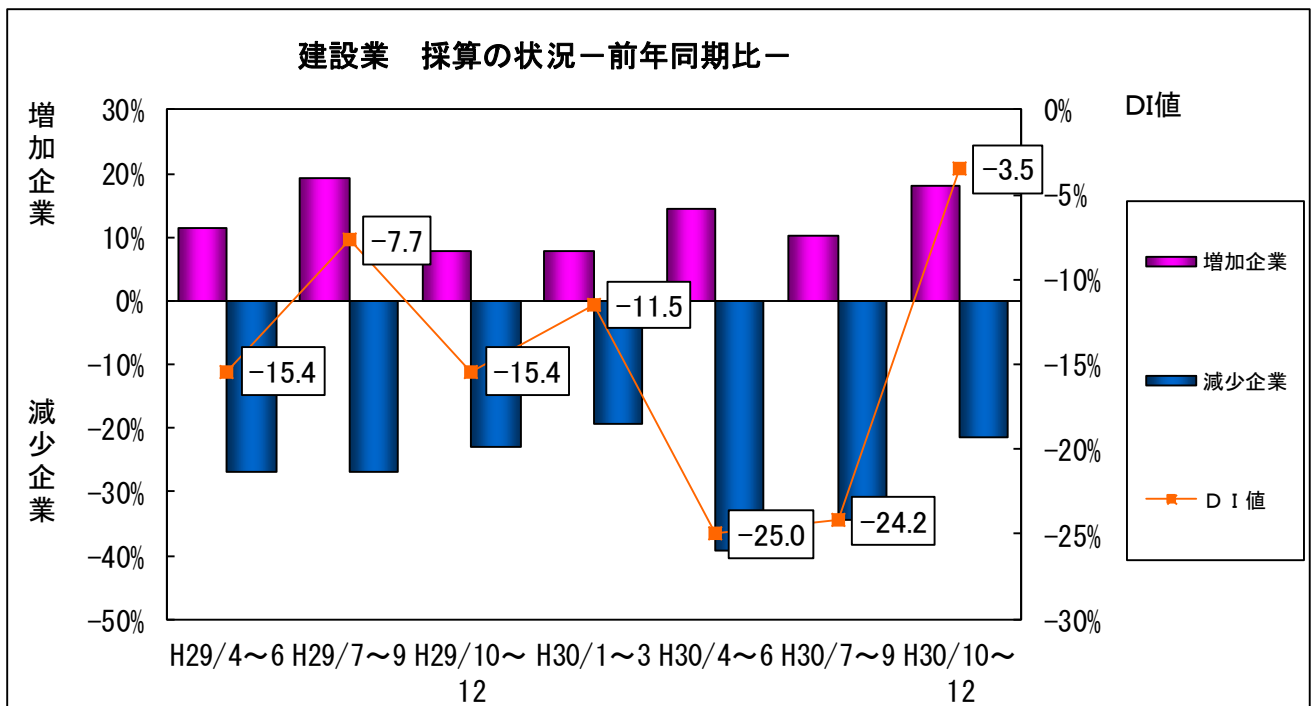
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額D I値は0.0。前期の▲24.2 から 24.2 ポイント上昇した。
 来期見通しは▲6.9 とやや下降の見込み。



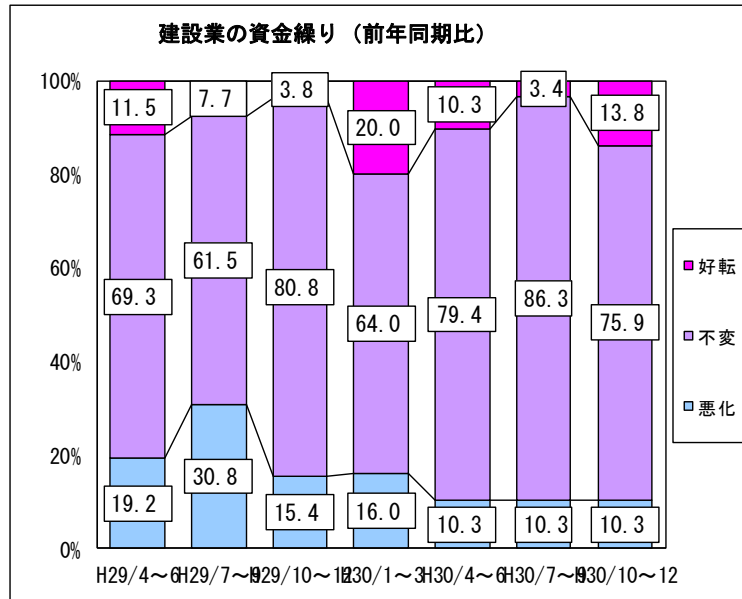
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I値は、▲3.5。前期の▲24.2 から 20.7 ポイントの上昇となった。
 来期見通しは、▲11.1 とやや下降の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は▲3.5。前期の▲6.9から3.4ポイント改善した。
来期見通しは、▲3.4と横ばい見込み。

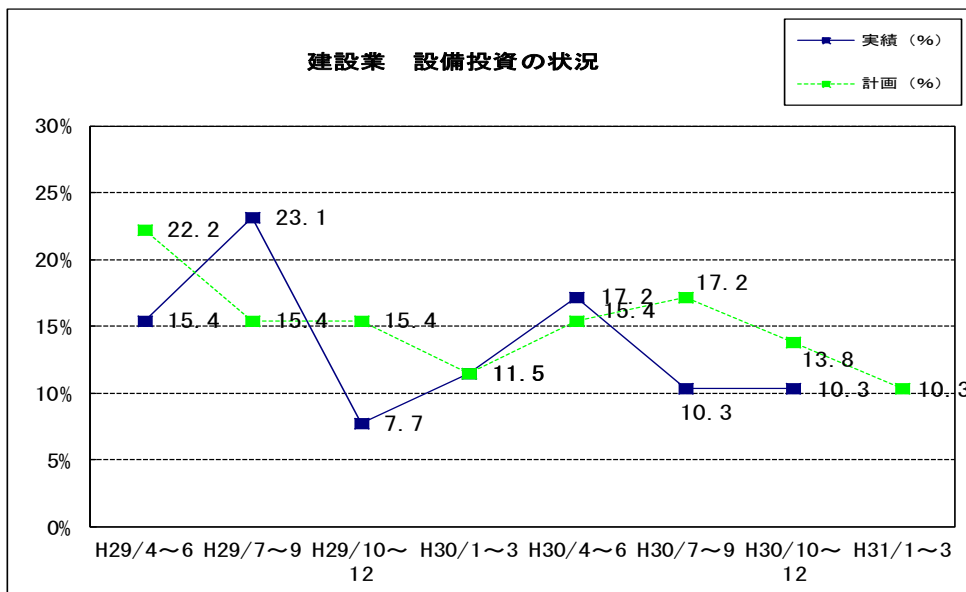


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施（実数）	3	0	0	2	0	1	0	0	0	26
（%）	10.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	89.7
今期実施（実数）	3	0	0	2	0	1	0	0	0	26
（%）	10.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	89.7
来期計画（実数）	3	0	1	0	1	0	0	0	1	26
（%）	10.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	89.7

今期設備投資を実施した企業は3社（10.3%）。前期（平成30年7～9月期）の実施企業3社（10.3%）と横ばい。来期は3社（10.3%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「材料価格の上昇」 (前期 36.4%→今期 43.5%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 22.7%→今期 34.8%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 31.8%→今期 26.1%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 18.2%→今期 21.7%)
- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 36.4%→今期 17.4%)
- ・ 「大企業の進出による競争の激化」 (前期 14.0%→今期 17.4%)

となっている。

